

文部科学省

教育データの利活用に関する有識者会議（第8回）

## 「教育データ利活用による学校運営」 ～ 大阪市次世代学校支援事業 ～

文部科学省 「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業  
(エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業)」

総務省 「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1387543.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1387543.htm)

大阪市教育局事務局 学校運営支援センター

山本 圭作

文部科学省初等中等教育局 ICT活用教育アドバイザー

2022 (R4) 年 4月11日



# 大阪市の学校(園)概要



学校数

|     |      |
|-----|------|
| 小学  | 286校 |
| 中学  | 130校 |
| 高校  | 21校  |
| 幼稚園 | 52園  |

489校園



教員数

|     |        |
|-----|--------|
| 小学  | 7,807人 |
| 中学  | 4,365人 |
| 高校  | 1,013人 |
| 幼稚園 | 347人   |

13,532人

24行政区  
人口273万人  
152万世帯

|     |          |
|-----|----------|
| 小学  | 114,027人 |
| 中学  | 52,082人  |
| 高校  | 11,381人  |
| 幼稚園 | 3,277人   |

180,767人

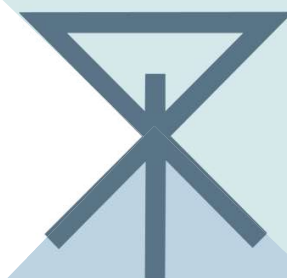


幼児・児童・  
生徒数

学級数

|     |       |
|-----|-------|
| 小学校 | 5,300 |
| 中学校 | 2,098 |

※2021 (R3) 5



# 次世代学校支援モデル構築事業

文部科学省「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」  
総務省「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1387543.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1387543.htm)

# 実証事業の目的

## 有益なデータ（エビデンス）の可視化を実現

学校に「教育データ（ダッシュボード）」を提供し学校運営での利活用を図る。「ダッシュボード」では、児童生徒、教員、管理職、それぞれにとって有益なデータ（エビデンス）の可視化を図る。データ利活用が教育の質の向上に資するかを実証する。

### ■本実証事業で取り組む内容

事業計画策定にあたり、学校へ合計**47**回の「データ活用に対する期待や要望」のヒアリングを行い、**111**個のヒアリング項目を整理し、以下の3テーマを設定した。

| テーマ             | 詳細                                                       |
|-----------------|----------------------------------------------------------|
| I.<br>学力・体力の向上  | 学習サイクルの定量評価やその結果に基づく教員の行動変革を通じて学力向上を実現する                 |
| II.<br>安心・安全な学校 | 授業満足度や日々の充実度と校務系データを組み合わせ、教員の即時対応力の向上および個別最適な支援を実現する     |
| III.<br>学校運営の充実 | 校務系、学習系データを合わせ、学校の現況や児童生徒理解を進めるなど管理職・教員の学校運営・学級運営の充実を図る。 |

### ■学校に提供する新しい価値

校務系システム  
さらなる活用

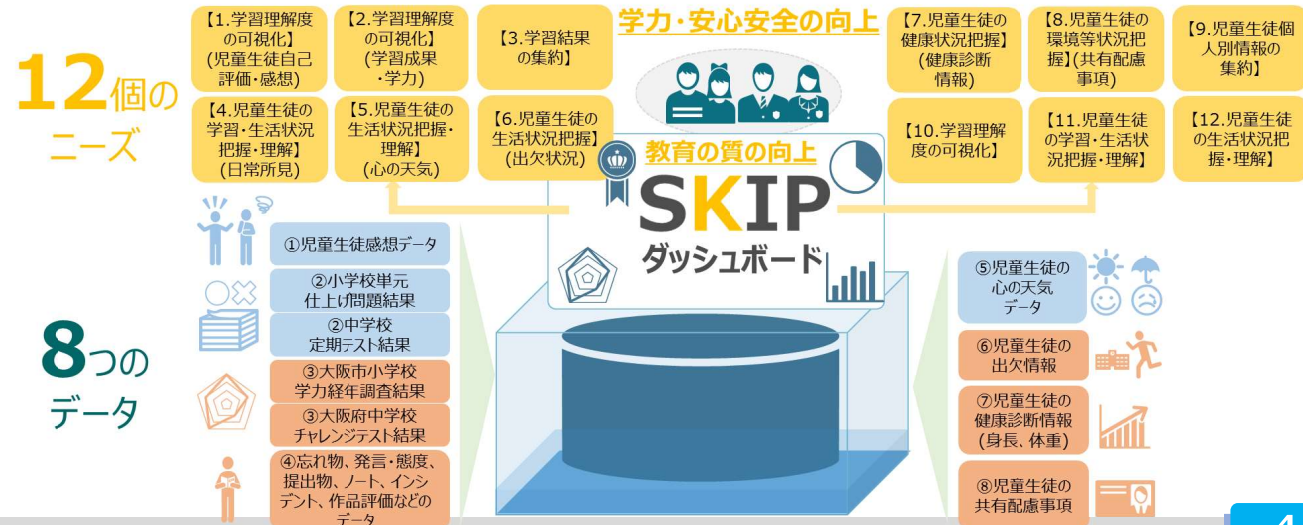


学習系システム新規導入  
小学校：デジタルドリル/心の天気  
中学校：デジタルテスト/心の天気

ダッシュボード  
校務・学習データ  
組み合わせ

市内5校の小・中学校（児童生徒約1,000人）で校務・学習データが連携した教育データ可視化システムを活用し、教育の質の向上に資するかを実証（H29～H31）

### ■ダッシュボードの最終イメージ





児童生徒ボード：児童生徒の状況を一覧化して見ることができる画面

◀ 前の児童生徒 ▶

# 児童生徒ボード：児童生徒の状況を一覧化して試みることができる画面

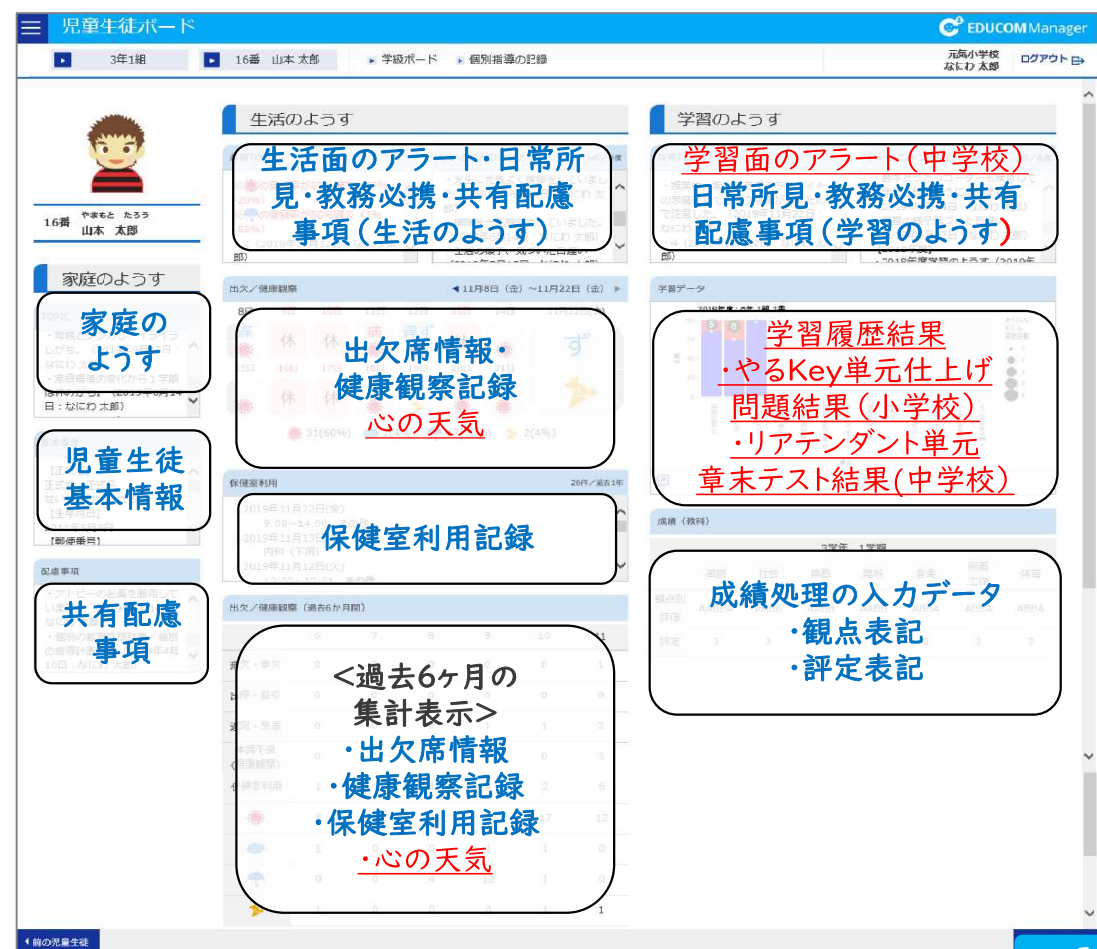
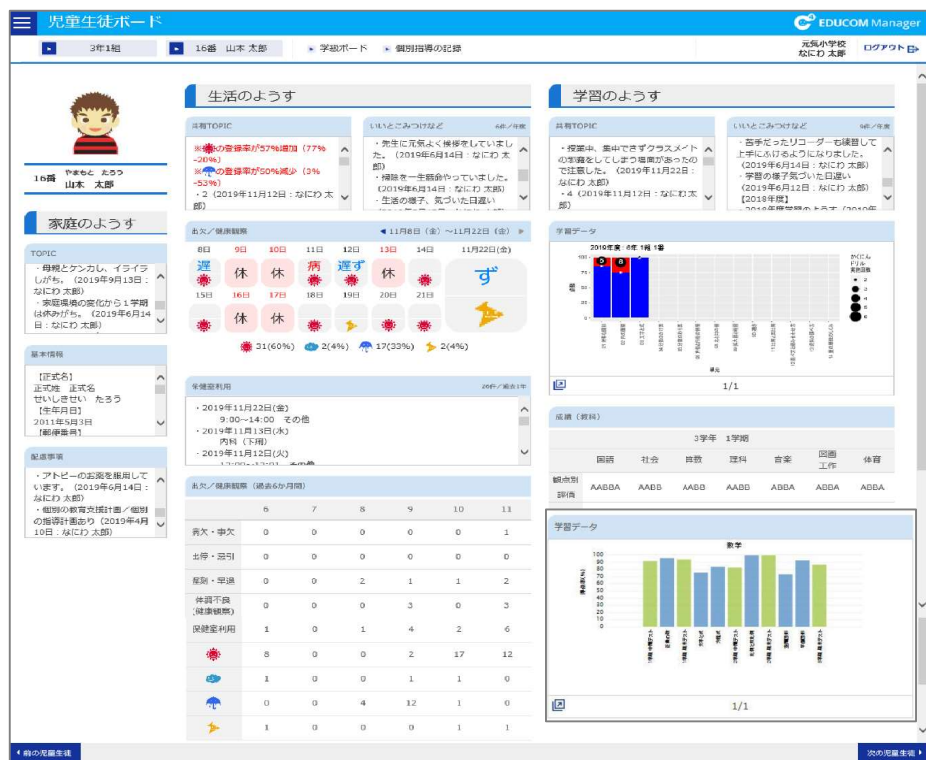
『児童生徒ボード』  
では個に応じた指導、  
学校全体での情報共有

児童生徒に関わる校務および学習系情報を集約・可視化し、  
個に応じた指導、学校全体での情報共有による組織的な支援へ活用。

凡例

赤字(太字):校務系データ

青字(下線):学習系データ



# 学級ボード：学級の状況を一覧化して試みることがでる画面

凡例  
赤字(太字):校務系データ  
青字(下線):学習系データ

『学級ボード』では  
問題やつまずきへの  
早期発見等

『タイムライン・クラスのようにす』、『生活のようす』、『学習のようす』の3画面で  
学級サマリやアラート情報を表示。児童生徒ボードへの動線の役割を担い、  
問題やつまずきへの早期発見、管理職からの指導・助言や支援に活用。

学級ボード

3年1組

児童生徒ボード

個別指導の記録

元氣小学校  
なにわ 太郎

ログアウト

クラスの様子

タイムライン

基本情報

【担任】  
大阪 華子  
なにわ 太郎

【副担任】  
大阪 花子  
【特別支援】  
山本 太郎

配属事項

▶ 岩佐 香  
・個別の教育支援計画/個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)

▶ 山本 太郎  
・個別の教育支援計画/個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)

2019年11月22日 (金)

出席簿

▶ 秋 冬子 病欠欠席 (病欠欠席)

▶ 大田 西子 遅刻 (遅刻)

▶ 山本 太郎 健康観察 (ず 頭痛 (健康観察))

心の天気

▶ 秋 冬子 ※の登校率が53%減少 (0%-53%)

▶ 岩佐 香 ※の登校率が40%減少 (0%-40%)

▶ 大田 西子 ※の登校率が43%減少 (0%-43%)

▶ 竹中 博之 ※の登校率が67%減少 (0%-67%)

▶ 山本 太郎 ※の登校率が57%増加 (77%-20%) ※の登校率が50%減少 (3%-53%)

▶ 大阪 太郎 ※の登校率が43%減少 (0%-43%)

保健室利用

▶ 秋 冬子 10:00~11:00 外科 (骨折)

▶ 細田 ケンイチ 13:15~17:25 内科 (風邪)

共有TOPIC (生活)

▶ 細田 ケンイチ 友人関係に悩みがある様子。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (生活)

▶ 秋 冬子 下級生の面影を見ることができた。(なにわ 太郎)

共有TOPIC (学習)

▶ 山本 太郎 授業中、集中できずクラスメイトの邪魔をしてしまう場面があったので注意した。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (学習)

▶ 大阪 太郎 学習ドリルを一生涯命取り組んでいた。(なにわ 太郎)

次の10日間を表示

学級ボード

3年1組

児童生徒ボード

個別指導の記録

元氣小学校  
なにわ 太郎

ログアウト

クラスの様子

タイムライン

基本情報

【担任】  
大阪 華子  
なにわ 太郎

【副担任】  
大阪 花子  
【特別支援】  
山本 太郎

配属事項

▶ 岩佐 香  
・個別の教育支援計画/個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)

▶ 山本 太郎  
・個別の教育支援計画/個別の指導計画あり (2019年4月8日: なにわ 太郎)

2019年11月22日 (金)

出席簿

▶ 秋 冬子 病欠欠席 (病欠欠席)

▶ 大田 西子 遅刻 (遅刻)

▶ 山本 太郎 健康観察 (ず 頭痛 (健康観察))

心の天気

▶ 秋 冬子 ※の登校率が53%減少 (0%-53%)

▶ 岩佐 香 ※の登校率が40%減少 (0%-40%)

▶ 大田 西子 ※の登校率が43%減少 (0%-43%)

▶ 竹中 博之 ※の登校率が67%減少 (0%-67%)

▶ 山本 太郎 ※の登校率が57%増加 (77%-20%) ※の登校率が50%減少 (3%-53%)

▶ 大阪 太郎 ※の登校率が43%減少 (0%-43%)

保健室利用

▶ 秋 冬子 10:00~11:00 外科 (骨折)

▶ 細田 ケンイチ 13:15~17:25 内科 (風邪)

共有TOPIC (生活)

▶ 細田 ケンイチ 友人関係に悩みがある様子。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (生活)

▶ 秋 冬子 下級生の面影を見ることができた。(なにわ 太郎)

共有TOPIC (学習)

▶ 山本 太郎 授業中、集中できずクラスメイトの邪魔をしてしまう場面があったので注意した。(なにわ 太郎)

いいとこみつけなど (学習)

▶ 大阪 太郎 学習ドリルを一生涯命取り組んでいた。(なにわ 太郎)

次の10日間を表示

＜日毎の学級新着・アラート表示＞

・出欠席情報  
・健康観察記録  
・保健室利用記録  
・日常所見・教務必携・共有配慮事項(生活のようす、学習のようす)  
・心の天気  
・定期テスト/单元テスト結果に基づいた学習面のアラート(中学校)



# 学級ボード - アラート設定 - (校務系)

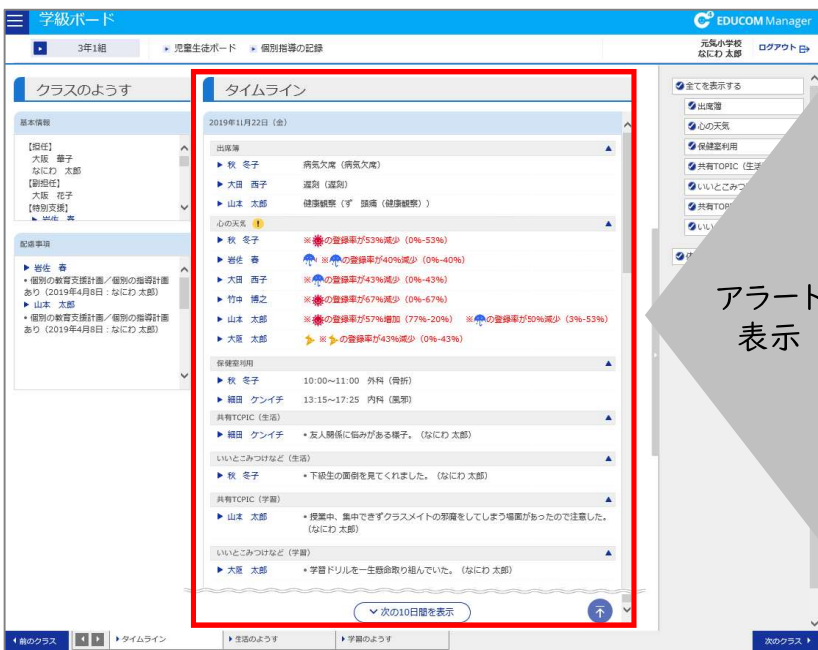
教員の気づきを促進、  
声かけへつなげる

児童生徒ボードと学級ボードのアラート表示にあたり、学校ごとできめ細かい設定が可能。  
決められたしきい値をもとに、アラートが出力されることで教員が気づきを得て、  
児童生徒への声かけや個別指導へ活用可能。

## アラート 設定

- 出欠席情報、心の天気、保健室利用において、学校が以下の条件で設定が可能。  
しきい値に沿って、学級ボード、児童生徒ボードにアラートが出力。
- ・「連続何[1~20]日以上」 ・「何[1~4]週以上連続で特定の曜日」
- ・「過去何[1~300]日間の割合が何[1~100]%以上」
- ・「直近数日間とその前の数日間とを比較し、登録率の差が何%以上」
- ・心の天気は、「過去何日間の割合が何%以下」の条件も設定可能。

## アラート 表示



### 出欠席情報 アラート設定

編集

出席簿の設定

連続何日以上

☐ 欠席  日以上

☐ 遅刻  日以上

☐ 早退  日以上

☐ 欠席 or 遅刻 or 早退  日以上

☐ 健康観察  日以上

何週以上連続で特定の曜日

☐ 欠席  週以上

☐ 遅刻  週以上

☐ 早退  週以上

☐ 欠席 or 遅刻 or 早退  週以上

☐ 健康観察  週以上

過去何日間の割合が何%以上

☐ 欠席  日間の割合が  %以上

☐ 遅刻  日間の割合が  %以上

☐ 早退  日間の割合が  %以上

☐ 欠席 or 遅刻 or 早退  日間の割合が  %以上

☐ 健康観察  日間の割合が  %以上

直近数日間 (期間1) とその前の数日間 (期間2) とを比較し、登録率の差が何%以上

☐ 欠席  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

☐ 遅刻  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

☐ 早退  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

☐ 欠席 or 遅刻 or 早退  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

☐ 健康観察  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

### 保健室利用 アラート設定

編集

保健室利用の設定

連続何日以上

☐ 内科 or 外科 or その他  日以上

何週以上連続で特定の曜日

☐ 内科 or 外科 or その他  週以上

過去何日間の割合が何%以上

☐ 内科 or 外科 or その他  日間の割合が  %以上

直近数日間 (期間1) とその前の数日間 (期間2) とを比較し、登録率の差が何%以上

☐ 内科 or 外科 or その他  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

### 心の天気 アラート設定

編集

心の天気の設定

連続何日以上

☐ 晴  日以上

☐ 曇  日以上

☐ 雨  日以上

☐ 雪  日以上

何週以上連続で特定の曜日

☐ 晴  週以上

☐ 曇  週以上

☐ 雨  週以上

☐ 雪  週以上

過去何日間の割合が何%以上

☐ 晴  日間の割合が  %以上

☐ 曇  日間の割合が  %以上

☐ 雨  日間の割合が  %以上

☐ 雪  日間の割合が  %以上

直近数日間 (期間1) とその前の数日間 (期間2) とを比較し、登録率の差が何%以上

☐ 晴  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

☐ 曇  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

☐ 雨  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

☐ 雪  日間の割合と  日間の割合を比較し  %以上

過去何日間の割合が何%以下 (その日の天気を対象)

☐ 晴  日間の割合が  %以下

☐ 曇  日間の割合が  %以下

☐ 雨  日間の割合が  %以下

☐ 雪  日間の割合が  %以下



## - アラート設定- (学習系)

教員の気づきを促進、  
指導改善へつなげる

児童生徒ボードと学級ボードのアラート表示にあたり、決められた条件を基にアラートが出力。  
教員が気づきを得て、知見をもとに学習結果を分析した上で、児童生徒への個別指導や授業改善へ活用可能。

データ連携で実現する  
学習系アラート条件

| 共有TOPIC (学習) |                                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ▶ 大阪 侑依      | •【数学】 中間テスト：80.0% / 期末テスト：67.0% ★中間テストと比べて、期末テストの結果が下がりぎみです。(2019年7月19日(金))           |
| ▶ 大阪 柚       | •【数学】 中間テスト：53.0% / 期末テスト：85.0% ★中間テストと比べて、期末テストの結果がよくなっています。(2019年7月19日(金))          |
| ▶ 大阪 柚希      | •【数学】 過去の単元テストの平均：57.0% / 方程式：83.0% ★過去の単元テストの平均と比べて、方程式の結果がよくなっています。(2019年7月19日(金))  |
| ▶ 大阪 結翔      | •【数学】 過去の単元テストの平均：22.0% / 方程式：4.0%<br>★過去の単元テストの平均と比べて、方程式の結果が下がりぎみです。(2019年7月19日(金)) |

■以下の条件を基に、学級/児童生徒ボードの共有TOPIC(学習)に表示可能。

### 1.定期テストの比較

今回と前回の定期テストにおける個人の得点率-学年の平均得点率の値を計算し、今回と前回の差が大きい上位と下位のグループ10%

### 2.単元テストの比較

今回と過去の単元テストにおける個人の得点率-学年の平均得点率の値を計算し、今回と過去の差が大きい上位と下位のグループ10%

### 3.テスト観点の比較

年間の単元テストおよび定期テストにおける各回の観点ごとの

個人の得点率-学年の平均得点率の値を計算し、線形近似の傾きが大きい上位と下位のグループ10%

# 心の天気 児童生徒入力画面

スクールライフノート

児童生徒エリア

 ○○市立元気小学校  
山本 太郎

ログアウト

ホーム

生活ノート

学習ノート

心の天気

学びの天気

予定

時間割

心の天気  作成

保存

キャンセル

きもち

  
はれ

  
くもり

  
あめ

  
かみなり

▼ひとことメモ

▼基本情報

日付

2021年2月3日 (水)

時限

朝

▼オプション

キーワード

すべてのキーワード -

☐ わかった ☐ わからなかった ☐ たのしかった

# 心の天気

## 子ども達のSOSを キャッチ

1日1回、児童生徒がそのときの気持ちにもっとも近い天気マークを選んで入力。  
登録時の児童生徒の様子や日々の変化を教員が見取り、声掛けのきっかけへ。



心の天気の入力



1台のタブレットを共有しての入力

## 心の天気



## 個別の教育支援計画・個別の指導計画

子ども達への  
きめ細かい  
個別指導を支援

個別の教育支援計画と個別の指導計画を年度ごとに登録・管理が可能。  
従来の電子ファイル管理から児童生徒・学級ボードと同様にシステムで集約化。

記入日

平成31年4月10日

記入者

なにわ太郎

障がいの状況

手帳の有無、相談歴、発達検査の記録等

データがありません

児童・生徒の実態

学習面

文章題が苦手で、自分のわからない課題を前にして、教室から退出したり、取り組むことを放棄してしまふことがある。

行動面

友人に必要以上に絡み込みすぎて、トラブルを起こしてしまうことがある。

社会性

データがありません

その他

データがありません

本人・保護者の願い

本人

気持ち落ち着けて、学校生活を送りたい

保護者

子どもの成長を促すこと、将来的には自立した生活を送れるようになることを願っています。

支援の目標

友人や自分自身の気持ちに向き合えるよう、自ら考えるように促す

合理的配慮の観点項目と具体的な支援内容

項目

①-1-2

内容

算数 ノートを横野線からマス目のあるものを使用する  
国語 漢字の学習においてワークシートやタブレット型端末のアプリケーションを活用する

| 個別指導の記録 |           |           |      |
|---------|-----------|-----------|------|
| 学年・学期   | 担当教員      | 年度        | 指導計画 |
| 3年1組    | 16番 山本 太郎 | 2019年度の記録 |      |

**16番** やまもと たろう  
山本 太郎

**記入日**  
平成30年4月10日

**記入者**  
なごの太郎

**担当者**  
なごの太郎

**年齢の指導目標**

- ・苦手な課題の数も数から少しずつ取り組もうとすることができると。
- ・感情が平穏になると、教師の促しによりクールダウンできる。

**年齢の指導目標設定の理由**

データがあるままに

| 項目名  | 指導内容      | 個別の短期目標                  | 指導の手立て                         | 達成状況                                 |
|------|-----------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 授業参加 | 授業中の様子を観察 | 教師が個別対応することで、意欲して課題に取り組み | ・座席を前にする<br>・機に行動の手本になる児童を配置する | ・音楽での接続が多くなると、態度を悪く理由を付けて退席することがあった。 |

**テーマ2**

| 項目名  | 指導内容           | 個別の短期目標                | 指導の手立て                                 | 達成状況                                   |
|------|----------------|------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 授業参加 | 文章題を理解できるようにする | 文章題を表した図を見て問題を解くことができる | 新しい事柄のはじめには、書き方が理解できるように。可能な限り個別に指導する。 | 指示することにより理解しやすい模様。自信をもって取り組みんでいるときもある。 |

**テーマ3**

| 項目名  | 指導内容    | 個別の短期目標         | 指導の手立て                         | 達成状況                                                        |
|------|---------|-----------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 対人関係 | 対人との距離感 | 対人との適切な距離感を理解する | 担任はほかの児童生徒とのやりを行い、児童生徒の思いを代弁する | 同じ意味の言葉とは異なり過ぎていて一方で、自分が関わりたい友人との距離感が適切でなく、トラブルにつながることもあった。 |

**テーマ4**

| 項目名       | 指導内容      | 個別の短期目標   | 指導の手立て    | 達成状況      |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| データがあるままに | データがあるままに | データがあるままに | データがあるままに | データがあるままに |



# 『データを活用する教員の一日』（抜粋）

文部科学省

「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業  
(エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業)」

総務省

「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」

The School Knowledge Innovated By Prime ICT

## 出勤後の教員

データ入力

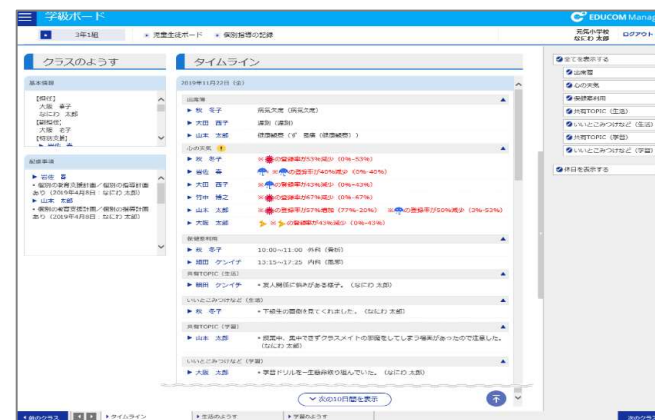
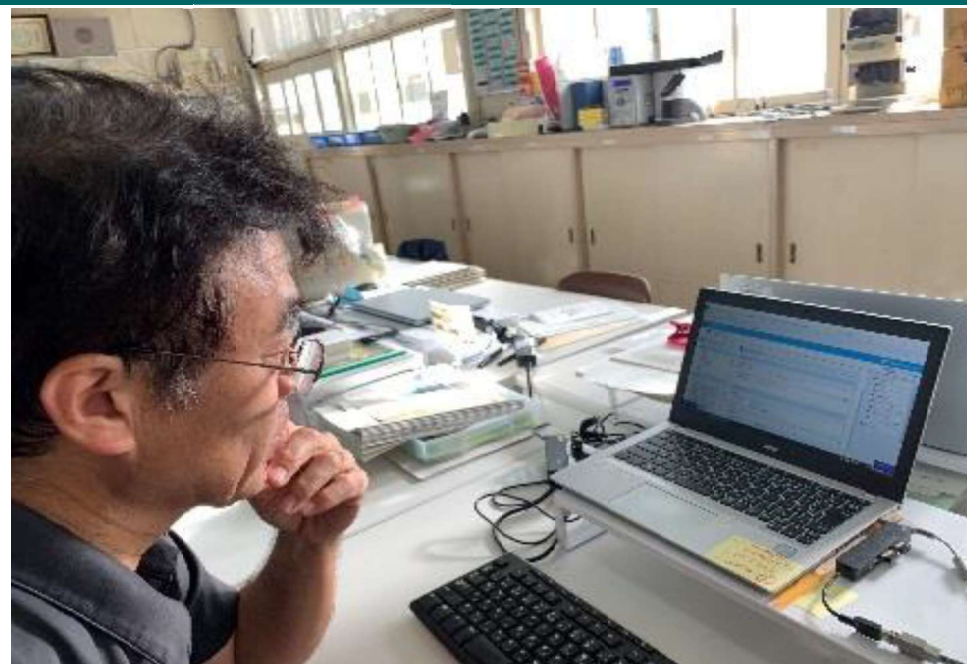
データ確認

データからの指導

出勤したA先生は、職員室でまずPCを開き、学級ボードの画面をじっと見つめる。いつもの習慣だ。

タイムラインに表示される新着情報やアラート等を見て、学級の状態や声掛けが必要な子どもたちを確かめていく。

今朝は、こんなことを思った。  
「Bさんは、いつも特定の時間に保健室に行っている。養護教諭のC先生と相談して、一度声掛けをしてみよう。」

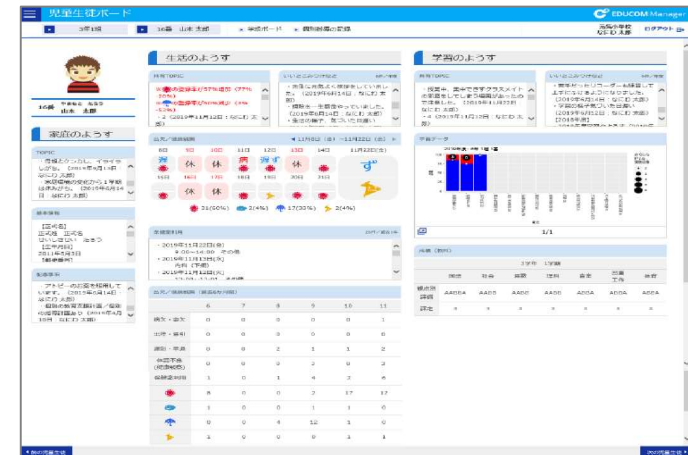


プルルル…職員室で電話が鳴り、  
教頭先生が受話器を取り上げた。  
「Dの保護者ですが、本日風邪で体調が  
よくありません。欠席させていただきます。」

早速、児童生徒ボードで保健室情報を確認  
した教頭先生は、心配になりこう伝えた。  
「昨日は5時間目から体調を崩され、  
保健室を利用されていましたね。  
Dさん、お大事にしてください。」



一人一人の詳細な情報を把握しているの  
で、丁寧かつきめ細かな対応ができる。



## 教室の朝の会

データ入力

データ確認

データからの指導

各学校に導入された、統合型校務支援システムの掲示板機能を活用し情報共有することで、職員朝礼をなくした。おかげでゆっくりと、教室で子どもたちを迎えることができる。朝の会の時間に、子どもたちは心の天気を「晴れ、曇り、雨、雷」から選択し、先生の傍らでちょっとした話をしながら、登録する。

毎朝、一人一人の顔を見ながら会話する、大事な時間だ。

「Eさん、最近では遅刻が多いね。…どうしたの?」「先生、…あのね。」ちょっとした変化も見逃さないようになってきたと思う。





朝学習の時間が始まった。  
 子どもたちはタブレットを机に置き、  
 一斉にデジタルドリルに取り組み始めた。  
 「先生、トロフィー取れたよ!」  
 「すごいね、応用問題も取り組んでみるかい。」

子ども自身が学びを振り返りながら、習熟度にあわせた問題を解くことが可能となっている。  
 デジタルドリルに、子どもたちみんなが主体的に取り組む教室。先生は個別指導が必要な子どもの支援に力を注いでいた。

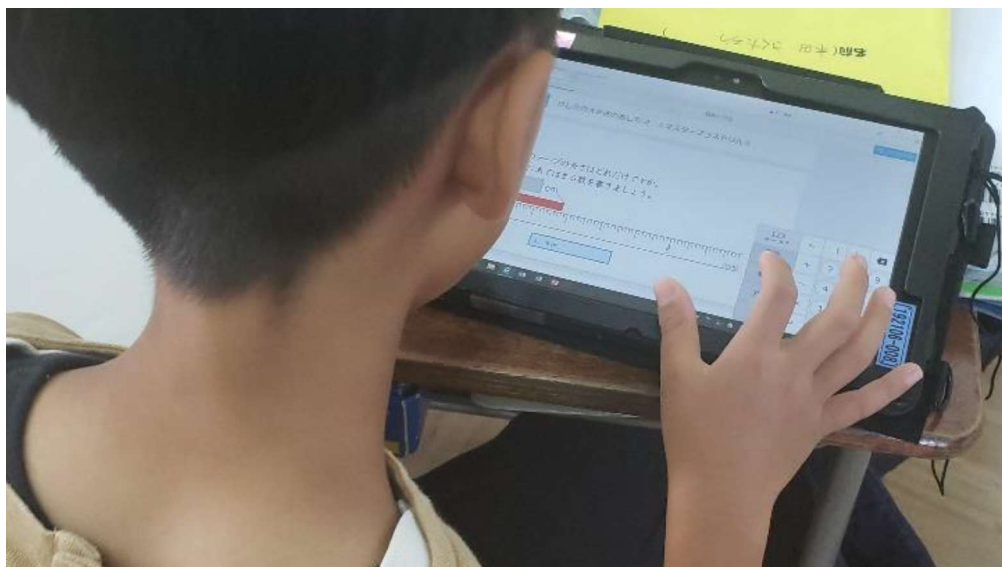


算数の習熟度別の授業。今日は単元のまとめの時間。デジタルドリルで単元の仕上げ問題に取り組ませる。子どもたちの習熟の状況を示すヒートマップをタブレットで確認し、机間巡視する。

「先生、この問題が終わったら、他の問題もしていい？」

「先生、分からないから教えて！」

つまづいている子どものそばに行き解説する。ICTと先生の個別指導を組み合わせ、個別最適化に向けて、一歩歩みを進めることができた。



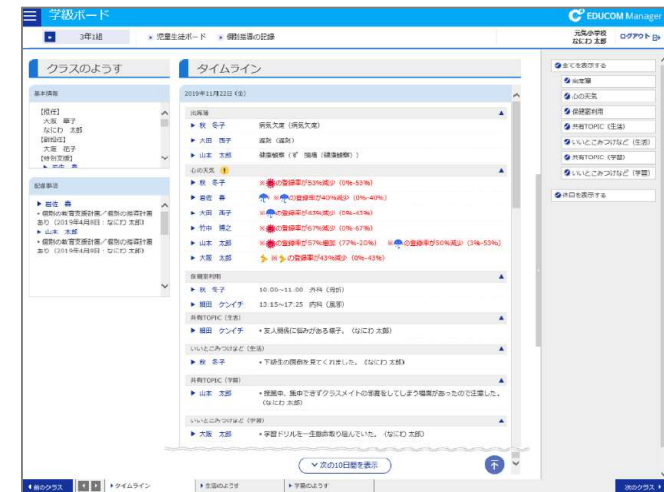
| 規定クラス | 整理番号 | 児童・生徒名 | 1) かけ算    |   |   |   |   |      |   |  |
|-------|------|--------|-----------|---|---|---|---|------|---|--|
|       |      |        | ① かけ算のきまり |   |   |   |   | ② 九九 |   |  |
|       |      |        | 1         | 2 | 3 | 4 | 5 | 1    | し |  |
| 4-1   | 1    | 児童1    | 4         | 3 | 3 | 3 | 2 | 2    | 3 |  |
| 4-1   | 2    | 児童2    | 7         | 1 | 4 | 1 | 1 | 6    | 1 |  |
| 4-1   | 3    | 児童3    | 2         | 2 | 1 | 1 | 2 | 1    | 1 |  |
| 4-1   | 4    | 児童4    |           | 1 | 2 | 2 | 2 | 3    | 4 |  |
| 4-1   | 5    | 児童5    | 5         | 2 | 2 | 1 | 1 | 1    | 2 |  |
| 4-1   | 6    | 児童6    | 1         | 1 | 2 | 1 | 2 | 2    | 1 |  |

学級ボードにおける学級の状況や、児童生徒ボードにおける一人一人の子どもたちの状況を、若手教員とベテラン教員がともに確認、分析する。

「I先生、Jさんが最近遅刻気味で、保健室利用も増えているよ。声かけてみた？心配なら、親御さんとも相談してね。」



蓄積されたデータが可視化されることで、ベテラン教員の経験や知見を活用し、詳細な状況把握や見取りを深めることができる。事案の早期発見や適切な対処についての指導法の伝承が可能となる。





## 児童生徒理解

データ入力

データ確認

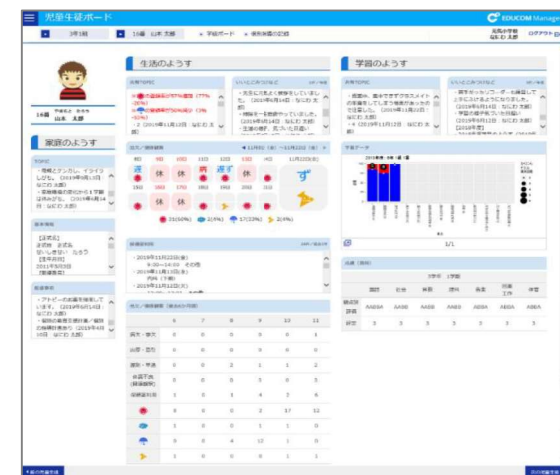
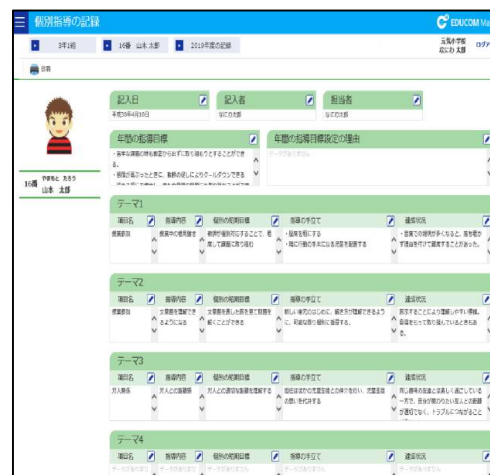
データからの指導

児童理解研修会や特別支援研修会、生活指導部会など、多面的に子どもたちを理解し、指導の方向性を決める会議が増えてきている。

「児童生徒ボードは顔写真もついていて、必要な情報が全て集約化されている。一人一人の子どもたちを理解し見取りを充実させることに役立っている。」

「Kさんの児童生徒ボードには、先輩教員の指導記録も記載されているな。今後、同様の事案が発生した時に参考にしよう。」

学校組織として、きめ細かな指導が可能となっている。





不調の訴えとなる原因がつかめない保健室利用が多く、心配な状況であった。

養護教諭のL先生は、「児童生徒ボードに集約された情報から、児童の不調の訴えとなる原因を多角的に分析してみようと思います。」と校長先生へ相談。

時間割との照合や、担任など様々な教員から声掛けした結果を分析。体育（プール）の時間など授業への苦手感が原因と判明した。

授業を離脱しがちな子どもたちの状況や対応について共有し、指導につなげられている。

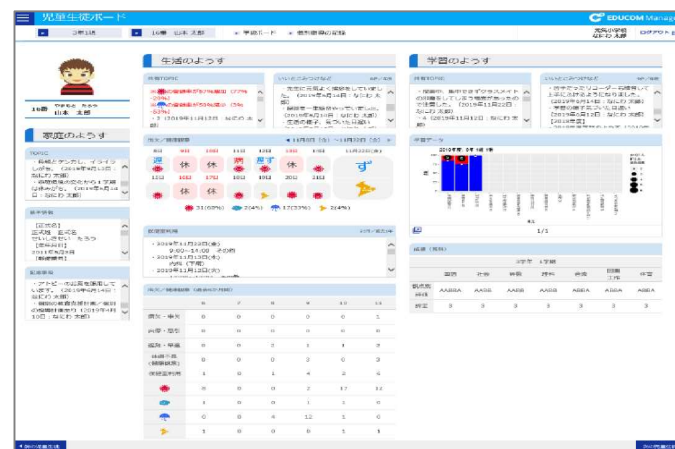


| 日付             | 時間         | 場所     | 内容 |
|----------------|------------|--------|----|
| 2019年11月22日(金) | 8:00~14:00 | その他    |    |
| 2019年11月13日(水) |            | 内典(下層) |    |
| 2019年11月12日(火) |            |        |    |

学期ごとに保護者懇談会を実施している。今日はOさんの懇談予定だ。懇談会前に児童生徒ボードを確認しておこう。

懇談会では、「掃除の時間にいつも一生懸命掃除してくれています。集会委員としては、新1年生を迎える会の準備を率先してやってくれました。授業では、算数の分数と小数が苦手だったようですが、数十回も同様の問題に取り組んで、応用問題も含めて、100点に値する金トロフィーがとれ、自信がついたようです。」

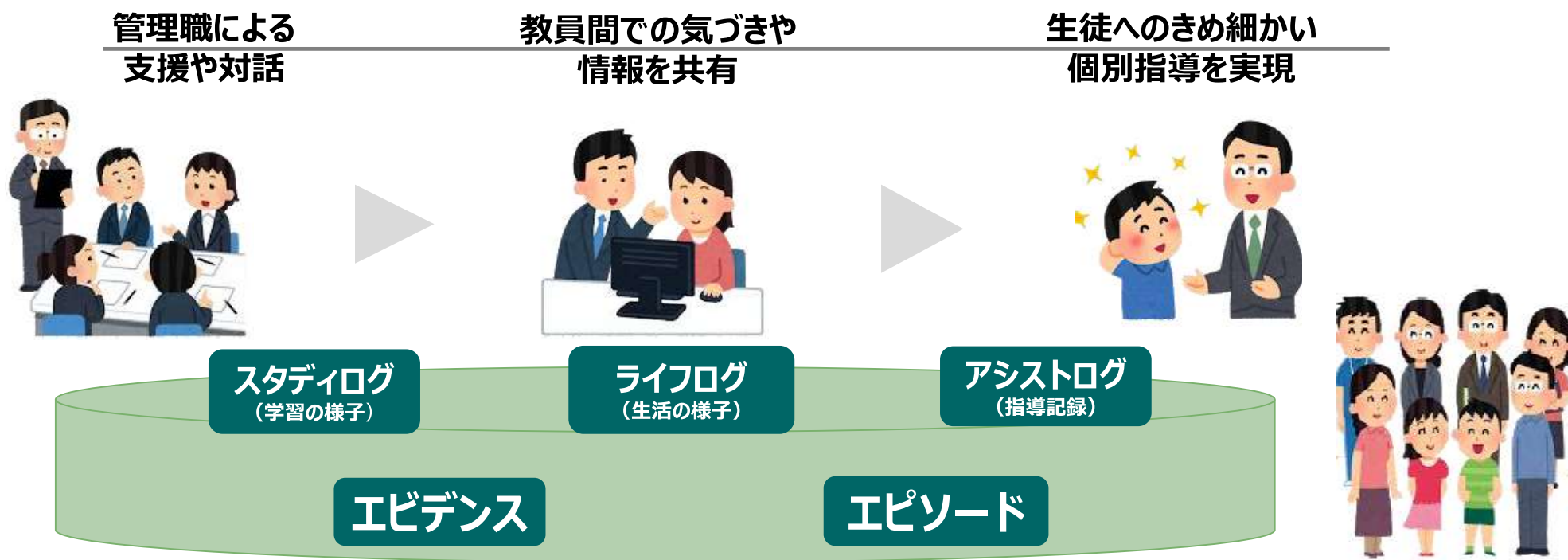
様々な情報から根拠のある説明ができた。担任以外の先生からもきめ細かく見守ってもらっていると安心されていた。



# 教員と児童生徒が共に学び、共に育つ

## 指導力の向上が教育の質の向上

何となくつかんでいた「子供像」  
経験で推察される「子供像」



エビデンスを伴う明確な「子供像」きめ細やかな指導による質の向上、安心・安全な学校運営の実現